

整理番号	255	事業概要*	県政報告作成代		
使途項目*	03_広聴広報費	01_調査研究費	02_研修費	03_広聴広報費	04_要請陳情等活動費
		06_資料作成費	07_資料購入費	08_事務所費	09_事務費
					10_人件費
内容	むかい栄一郎県政報告第20号作成費 6200枚				
上記事業に要した経費	経費の内容*	金額(円)*	備考		
	印刷・DM折り・二つ折り・消費税	290,700	306,000 ^円 × 95%		
		《合計》*	290,700	/	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

收受 平成 30 年 5 月 30 日
 決裁 平成 30 年 6 月 1 日
 処理 平成 30 年 6 月 1 日

領収書

No. 2

平成30年 5月 8日

富山県議会議員 向栄一朗

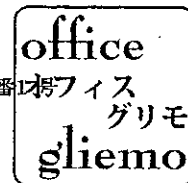
様

¥306,000 —

但し むかい栄一朗 県政報告 第20号 代として
上記正に領収いたしました。

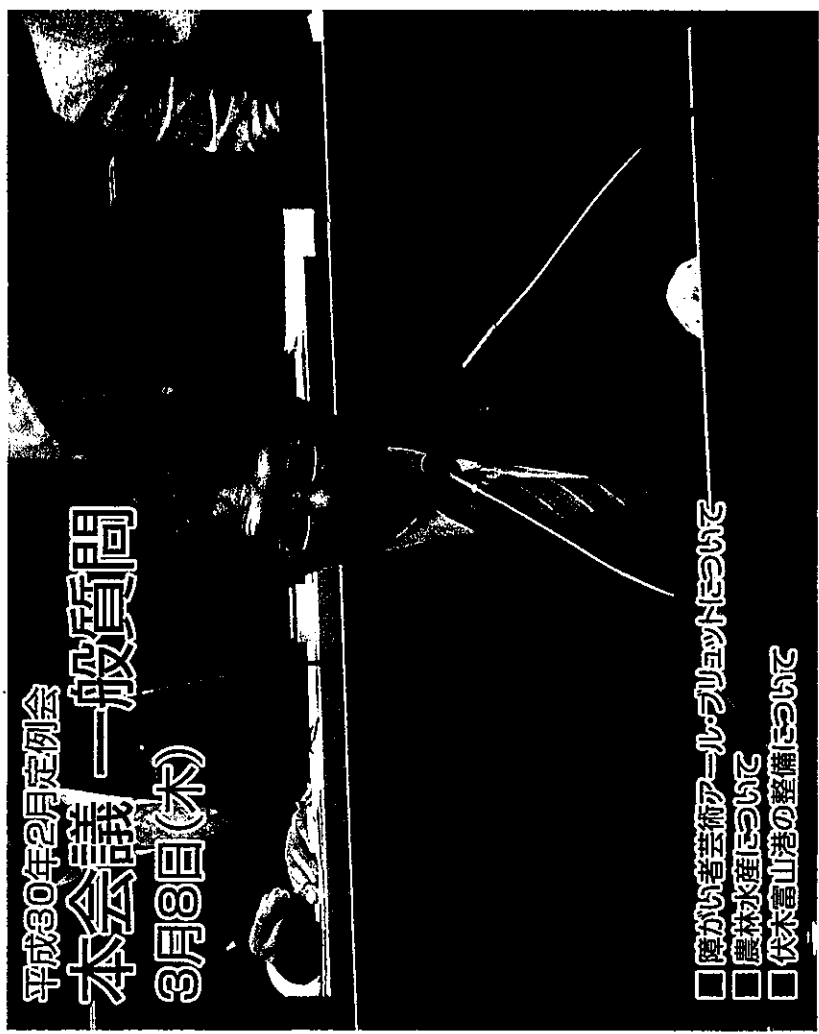


オフィス グリモ
〒933-0112
富山県高岡市伏木古国府5番
TEL:0766-75-7820
FAX:0766-75-7820



むかい 栄一朗

県政報告



平成30年2月定例会
本会議 一般質問
3月8日(木)

- 障がい者芸術アール・ブリュットについて
- 農林水産について
- 伏木富山港の整備について

アール・ブリュット (art brut)

※フランス語で「生の芸術」という意味

アール・ブリュットとは文化的潮流や伝統、教育などの影響を受けず、作者の内側から湧き出る固有の衝動や創意に基づいた芸術作品です。この作品展が1月24日から56日間、高岡市美術館にて開催されました。

「アール・ブリュット」高岡chapter3〜らしくとままで〜」と題されたこの作品展はNPO法人障がい者アート支援工房ココベリが企画。新潟 富山・石川・福井・滋賀で活動する障がいのあるアーティスト達による「自分らしく」をテーマにした素晴らしい作品が展示されました。

新聞で扱われた内容

3月9日 北日本新聞より

- 1月13日 朝日新聞 朝日山形放送協会の...
- 2月24日 読売新聞 読売安部選挙責任委員会...
- 3月17日 高岡や近きみ駅使用開始
- 1月3日 朝日新聞 朝日山形放送協会の...
- 2月11日 新潟県山形地区実行組合 県議会...
- 1月21日 購買寺消防出初式
- 3月10日 購買寺とまちづくり協議会
- 3月24日 障がい者アート支援工房ココベリが企画...
- 1月1日 新年祝賀会 依木地区新年祝賀名刺交換会
- 3月7日 右衛門2号機 権左衛門養生林33
- 月長 俊記 今年の雪は県内のいたるところに積雪を減しました。雪で隠れていた被害は、溶けた後に見えてきました。速やかな復旧をお願いします。(林 貴文)

富山県議会 本会議 一般質問

平成30年3月8日

障がい者芸術アール・プロジェクトについて

アール・プロジェクトに取り組む作家と支援するNPO等関係団体の活動状況は、

答弁 前田厚生部部長
NPO障がい者アート支援工房「アール」が熱心に取り組んでおり、正員教員である美術作家等や、特別支援学校を卒業した12人の作家が所属し、高岡市を拠点として創作活動等を行っている。同団体の作家の中には、「越中アートフェスタ」における入賞者や、昨年「こころ」展で賞状を受けたアーティスト、アール・プロジェクト展「KOMOREB」に出展した者もあり、その芸術性が高く評価されている。

「障がい者アートフェスタ」の来場者の数と反響、これから開催される「富山フェスティバル」の開催に取組みの意向は、

来場者数は同会場合わせて計約200名となり、「今後も展示会に足を運ばたい」「自分の地域でも作品を鑑賞する機会があればいい」「作品を購入したい」等の感想をいただいている。富山フェスティバルでは、富山県民会館において、作品展示と併せて特別講演や映像上映、「アール・プロジェクト」の紹介等を行うこととしている。また、ポスターを作成

保全に対する支援なども実施している。さらに、26年度から入浴中自然石を設置するなど、環境造成を行っている。

倒伏しない「富電電」の栽培に期待を抱く農家もある。小規模・兼業農家が「富電電」の栽培に取り組めるようになるのは、いつ頃か、

30年度の「富電電」の生産者については、必ずしも大規模経営体だけではなく、比較的規模の小さな農家や兼業農家もあわせて、栽培基準の遵守などに同意する481経営体を登録した。今後、これらの取組みを関係者団体と連携して推進し、1,000総の作付確保を目指す。

伏木富山港の整備について

伏木外港緑地整備検討会について、今年度内に3回目の検討会が開かれ、基本計画の詳細案が示されるが、今後のスケジュールと取組みは、

答弁 加藤土木部部長
伏木外港緑地については、今年度、基本計画の策定に着手し、これまで、高岡市や地元関係者からなる検討会を3回開催し、基本方針や整備方針、施設計画などについて、意見交換しながら、検討を進めてきている。来年度は、この基本計画に基づき、実施設計を行うこととしており、引き続き、関係の皆様方のご意見を伺いながら、地域の方々のみならず、国内外からの観光客の方々にも親しまっていただける魅力ある緑地となるよう、高岡市と連携協力し、しっかりと取り組んでまいりたい。

と、県ホームページへの掲載等にも取り組んでいる。

県民ホールや、アール・プロジェクトと名付けた障がい者芸術活動への支援にもつとに取り組み、障がい者芸術文化振興につなげるのか、

国の補助事業を活用して、30年度に新たに障がい者芸術の拠点として民間団体による「障がい者芸術文化活動支援センター」の設置を支援する。障がい者芸術に係るホームページを開設し、アール・プロジェクトや作品等についての情報を発信を図るとともに、既存の障がい者絵画展や作品展への助言・支援や、絵画以外の演劇、音楽等についての普及支援に向けた検討等を行う。

特別支援学校における芸術的実践を掘り起こし、その魅力を大勢に伸ばす取組が必要と考えるが、いつ頃に取組みたいのか、

答弁 岩谷教育長
本県の学校には、絵画に興味を示し、多様な実践や感性を有する子どもも数多く在籍している。図画工作の授業だけでなく、自主活動や特別活動の時間、部活動など、作品制作の場を確保し、画材も提供しながら、絵画や陶芸などの芸術活動を行う機会を設けている。

障がい者が、生きがいとなるような芸術活動を支援するため、創作活動の場の提供と作品の保管施設の確保にもつとに支援するのか、

答弁 石井知事
北陸三県では初となる「障がい者芸術文化活動支援センター」の設置を支援する。同センターでは、アール・プロジェクト展示会の開催のほか、指導者の養成、障がい者芸術に係る相談支援、作家・作品の調査・発表、障がい者芸術の現状と課題等について、議論する会議の開催を行う。

基本計画案で求められている緑地空間の整備について、クルーズ船舶利用客が立ち寄るとなれば、遊歩道等から整備済みの万葉館緑地と一体となった緑地整備が必要となるが、調整は、

万葉館頭緑地と外港緑地との間には、昔の海岸線の名残である既設の防波堤と水叩きがあり、万葉館頭緑地と水叩きとの高低差は約3m、万葉館頭緑地と外港緑地との高低差は約2mとなっている。基本計画では、緑地のシンボルとなる岬の広し階段や車イスの方にも配慮したスロープの設置を行い、具体的な利用ができるような水叩き部分への盛土も行う。

集客の要となる施設として、民間が運営する喫茶店やレストランの誘致を望む声もあるが、緑地内でのような施設の設置が可能か、

外港緑地については、もともと面積が広く、なごみ多目的な広場を設けることとして計画を進めている。飲食等のサービスについては、メニューの選定や内容に応じたニーズに留意し、可能な限り、移動販売車等の提供を考えている。一方、伏木地区は、大型クルーズ客船の寄港地や

伏木富山まつりには、多くの観光客で賑わっており、近頃は隣陣守をはじめとした観光城址もあることから、回遊性が高められ、交流の拠点にも考えられ、港緑地に民間活力を導入して集客の要となる施設を整備するよう、十分と考える。港緑地内に飲食施設を整備するようには、



豊林水産について

県内の漁港林での画による折損被害の発生状況と対策は、

答弁 芝田豊林水産部部長
今冬は、昭和39年の暴風により被害を受ける被害画もあり、豊林港においては、幹や枝の折れ、倒木が発生して、県内6市町で計28本の杉並木を倒産している。今後できる限り早急に被害漁港の事業をいじり、伐倒などを行う。



ついで調査回復調査で得た成果を活用し、豊山港に被害するついで幼魚を保護し、ついで試みを漁業者の理解を得たうえで実施すべく考えているのか、

答弁 石井知事
本県に実施した調査によれば、ついで、3歳魚にもなる北海道から来ると海へ回遊するが、1歳以下の幼魚の移動範囲は対象の海域程度に留まっているとみられ、幼魚の漁獲を抑制することは、本県のついで漁獲量の増加につながる可能性があると考えている。

議決後に、ついで、これまでの原因調査から得た知見をもとに、対策を実施すべく考えているのか、

答弁 芝田豊林水産部部長
国の事業を活用して、漁業者や地域住民による人工の移植や、10の除去などの整備の保全、海苔の繁茂を促すアールの投入、岩盤埋めなどの整備

これまでも新築のクルーズ船と水公園など利用客を呼び、立地を促している事例もある。県としては、賛成のある民間の方から具体的な提案があれば、素早く対応してまいりたい。

5日に整備するMSOクルーズ船について、寄港時間が短い。観光客が満足し、地域が潤う仕組みをつくるための取組みは、

答弁 蔵場観光・交通・地域振興部長
クルーズ船の中には、比較的長時間の寄港を観光のニーズもあつたり、高岡市に泊り、中心市街地やシヤムビルバスや伏木地区の観光客の誘引により、広域の観光を促す取組みも検討されているが、寄港の際の「泊りなし」として、観光客の誘引や、広域の観光を促す取組みも検討している。また、出港の際の花火打ち上げも検討している。

これまでの整備整備を促すよう、クルーズ船やクルーズ船の外部クルーズ船の寄港実現に繋がることを考えるが、いつ頃に整備して誘致に取り組むのか、

答弁 石井知事
新年度新たに、クルーズ船誘致専門ワーキングチームを設置するほか、誘致クルーズ船誘致のための補助制度の創設、「トリップアドバイザー」や「ミラクルクルーズ」を活用した誘致促進などにも、県内はもとより欧米の船主等へのメールも発信している。なお、今年4月には世界で最も美しいクルーズ船として総会出席のため訪日したというが、欧州の主要な船主等と話をしていることとあり、先方の都合が、自らクルーズを行いたいと考えている。

整理番号	812	事業概要*	県政報告20号郵送代		
使途項目*	03_広聴広報費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費 05_会議費 10_人件費
内容					
上記事業に要した経費	経費の内容*	金額(円)*	備考		
	県政報告第20号郵送代	343,837	361934*0.95		
	《合計》*	343,837			
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

收受 平成 30 年 7 月 30 日
 決裁 平成 30 年 7 月 31 日
 処理 平成 30 年 7 月 31 日

振替払込請求書 兼受領証							
通常払込料金 加入者負担							
00180	3 901196						
日本郵便株式会社							
千	百	十	万	千	百	十	円
		3	6	1	9	3	4
933-0101 富山県高岡市伏木園分1丁目5-3							
向 栄一朗 様							
日 附 印							
30-07-18				伏木郵便局			
(32015)				N94170008			

切取り線は、大切に保管してください。

この受領証は、大切に保管してください。

(ご注意)
この用紙は、機械で処理しますので、折り角は取り除いてください。
この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機・ATMでもご利用いただけます。
この払込は、ゆうちょ銀行又は郵便局の振込機に接続する必要があります。別途、ゆうちょ銀行又は郵便局の窓口にてお申し込みが必要です。
この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の窓口にてお申し込みが必要です。ゆうちょ銀行又は郵便局の窓口にてお申し込みください。



933-0101
富山県高岡市伏木園分1丁目5-3

向 栄一朗 様

0069804 # C 1 3 2001016785-000002

■郵便物の返還先
高岡郵便局
933-8799
富山県高岡市御馬出町3-4
0766-28-5100

請求書 (Bill)

向 栄一朗 様

日本郵便株式会社

平素は、格別のお引き立てに預かり、誠にありがとうございます。
料金後納ご利用額につき、下記のとおりご請求させていただきます。
同封の払込取扱票にて、最寄りの郵便局またはゆうちょ銀行でお振込みください。
※ゆうちょダイレクトによるご送金はできませんのでご注意ください。

【お問合せ先】
高岡郵便局
電話：0766-28-5100

ご請求番号 (Billing ID)	ご請求額 (Charge)	お支払期限 (Due Date)	発行日 (Date of Issue)
██████████	335/25 361,934 円 (うち消費税相当額) 26,809 円	2018年 7月 31日	2018年 7月 6日
ご請求の内訳 (Billing Details)			
2018/06/01~2018/06/30 料金後納ご利用額		361,934円	489) x74

お支払期限までにお支払いいただけない場合、その期限の翌日から年14.5%の延滞利息をお支払いいただきます。
「犯罪による収益の移転防止に関する法律」(平成19年法律第22号)により、10万円を超える額をお支払の際には、ご利用金融機関の窓口において、お客さまご本人のお名前、

— 閉塞と自然が混在した地方自治 —

むかい 栄一朗

平成30年4月発行
第20号
発行所 自由民主党富山県議会議員会
むかい 栄一朗

平成30年2月定例会
本会議 一般質問
3月8日(木)

□ 障がい者芸術アール・ブリュットについて
□ 農林水産について
□ 伏木富山港の整備について

アール・ブリュット (art brut)

※フランス語で「生の芸術」という意味

アール・ブリュットとは文化的潮流や伝統、教育などの影響を受けず、作者の内側から湧き出る固有の衝動や創意に基づいた芸術作品です。この作品展が1月24日から5日間、高岡市美術館にて開催されました。

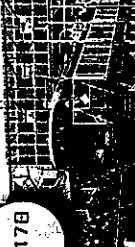
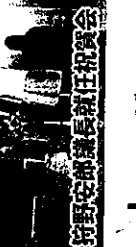
「アール・ブリュット」高岡chapter3〜らしくとままで〜」と題されたこの作品展はNPO法人障がい者アート支援工房ココベリが企画。新潟・富山・石川・福井・滋賀で活動する障がいのあるアーティスト達による「自分らしく」をテーマにした素晴らしい作品が展示されました。

新聞で扱われた内容

9月9日 北日本新聞より

一新任(直志)くさ

議員活動
イベント



今年の雪は県内のいたるところに積雪を来しました。雪で覆っていた被害は、溶けた後に見えなくなる。雪の降りかたや積雪の量によって、(特)「政」

平成30年3月8日

障がい者芸術アートプロジェクトについて

アートプロジェクトに取り組む作家と支援するNPO等関係団体の活動状況は？

答弁 前田厚生部長

「NPO障がい者アート支援センター」が熱心に取り組んでおり、元県教員である美術作家等や、特別支援学校を卒業した12人の作家が所属し、高岡市を拠点として創作活動等を行っている。同団体の作家の中には、「越中アートフェスタ」における入賞者や、昨年この場で開催された「アム・アートプロジェクト展「KOMOREBO」」に出品した者もあり、その芸術性が高く評価されている。

「障がい者アートフェスタ」の参加者の数と、これらで開催される「富山プロジェクト」の開催し取組みの状況は？

参加者数は恒例開催を以て計約200名となり、「今後も展示会に足を運ばれたら」「自分の地域でも作品を鑑賞する機会があればいい」「作品を購入したい」等の感想をいただいている。富山プロジェクトでは、富山県民会館において、作品展示と併せて特別講演や映像上映、「アートプロジェクト」のシンポジウム等を行うこととしている。また、アーティストを育成

県民に対する支援なども実施している。さらに、26年度から入道中と自然石を採石するなど、環境造成を行っている。

個体しない「富山産」の栽培し取組を担う農家もある。小規模・兼業農家が「富山産」の栽培に取り組みをもちにしているのは、いつ頃か？

平成30年度産の「富山産」の生産者については、必ずしも規模経営体だけではなく、比較的規模の小規模農家や兼業農家も含めて、栽培基準の遵守などに同意する48経営体を登録した。今後、これらの取組みを関係者団体と連携して推進し、1,000以上の作付確保を目指す。

伏木富山港の整備について

伏木外港緑地整備検討会について、今年度内に3回目の検討会が開かれ、基本計画の詳細案が示されるが、今後のスケジュールと取組は？

答弁 加藤土木部長

伏木外港緑地については、今年度、基本計画の策定に着手し、これまで、高岡市や地元関係者からなる検討会を2回開催し、基本方針や整備方針、施設計画などについて、意見交換しながら、検討を進めてきている。来年度は、この基本計画に基づき、実施設計を行うこととしており、引き続き、関係の皆様方との意見を伺いながら、地域の方々のみならず、国内外からの観光客の方々にも親しみいただける魅力ある緑地となるよう、高岡市と連携協力し、しっかりと取り組んでまいりたい。

「県ホームページ」の掲載等にも取り組んでいる。

県民ホールや、バリアフリーと名付けた障がい者芸術活動への支援にも積極的に取り組む。障がい者芸術文化振興につなげるのか？

国の補助事業を活用し、30年度に新たに障がい者芸術の拠点として民間団体による「障がい者芸術文化活動支援センター」の設置を支援する。障がい者芸術に係るホームページを開発し、アートプロジェクトや作品展示についての情報発信を図るとともに、既存の障がい者芸術団体の作品展示への助言・支援や、巡回以外の演劇・音楽等についての普及・支援に向けた検討等を行う。

特別支援学校において芸術的鑑賞を盛りこみ、その感性を大切に伸ばす指導が必要と考え、このように取り組んでいるのか？

答弁 沢谷教育長

本県の学校には、絵画に興味を示し、多様な鑑賞や感性を育む子ども達が数多く在籍している。図画工作の授業だけでなく、自主活動や特別活動の時間、部活動など作品制作の場を確保し、画材も提供しながら、絵画や陶芸などの芸術活動を行う機会を設けている。

障がい者が、生きがいとなるよう芸術活動を支えるため、創作活動の場の提供と作品の保管施設の確保にも積極的に取り組んでいるのか？

答弁 石井知事

北陸二県では初となる「障がい者芸術文化活動支援センター」の設置を支援する。同センターでは、アートプロジェクト展示会の開催のほか、指導者の養成、障がい者芸術に係る相談支援、作家・作品の調査・発掘、障がい者芸術の現状と課題等について、議論する会議の開催を行う。

基本計画案と求められている緑地空間の整備について、クルーズ船利用客が立ち寄るとなれば、接岸岸壁から整備済みの万葉垣緑地と一体となった緑地整備が必要となるが、課題は？

万葉垣頭緑地と外港緑地との間には、昔の海岸線の名残である既設の防潮堤と水叩きがあり、万葉垣頭緑地と水叩きとの高低差は約3m、万葉垣頭緑地と外港緑地との高低差も約2mとなっている。基本計画では、緑地のシンボルとなる幅の広い階段や車イスの方にも配慮したスロープの設置を行い、体系的利用ができるよう水叩き部分への盛土も行う。

集客の要となる施設として、民間が経営する喫茶店やレストランの誘致を望む声もあるが、緑地内へのこのような施設の設置が可能か？

外港緑地については、より自由度が高くなるよう多目的な広場を設けることとして計画を進めている。飲食等のサービスについては、イベントの規模や内容に応じたニーズに適合対応可能な、移動販売車等での提供を考えている。一方、伏木地区は、大型クルーズ船の寄港地や伏木曳山まつりには、多くの観光客を賑わすとともに、近傍には勝興寺をはじめとした観光拠点もあることから、回遊性が高まれば、交流の拠点になると考えられ、港湾緑地に民間団体を導入して集客の要となる施設を整備すること、十分に考えられる。港湾緑地内に飲食施設を設置することについては、



農林水産について

県内の海産林での害による折損被害の発生状況と対策は？

答弁 芝田農林水産部長

今年度は、昭和38年の暴風により被害を受けた被害者となり、海産林においては、幹や枝の折れ、倒木が発生しており、県内6市町で計29本の被害木を確認している。今後できる限り早期に被害地に出張し、被害を減らすことにより被害を減らすことを行う。



アジ漁獲回復調査で得た成果を活用し、富山湾に滞在するアジの幼魚を漁獲しなす試みを漁業者の理解を得たうえで実施できると考えられるか？

答弁 石井知事

本県で実施した調査によれば、アジは、3歳前後になると北海道から東へ十海へ回遊するが、1歳以下の幼魚の移動範囲は数県海域程度に限られているとみられ、幼魚の漁獲を抑制することは、本県のアジ漁獲量の増加につながる可能性もあるとされている。

磯焼けについて、これまでの原因調査から得た知見をもとに、対策を実施できると考えられるか？

答弁 芝田農林水産部長

国の事業を活用し、漁業者や地域住民によるアジの移植やこの除去などの磯焼けの保全、海産の繁殖を促す取り組みの取組、岩盤掘削などの漁場

これまでも新築クルーズ船や観光公園と利用許可を得て、立地したにしている事例もある。県としては、景観のある民間の方から主体的な提案があれば、柔軟に検討してまいりたい。

島に滞在するクルーズ船の滞在時間と、寄港時間が短い。観光客が満足し、地域が潤う仕組みづくりの取組は？

答弁 蔵橋観光・交通・地域振興局長

クルーズ船の中には、比較的長時間の滞在が観光のニーズであることから、適宜に船が中心市街地行きバスやバスや伏木地区の観光バスを運行し、より、近隣の観光地を周遊する取組も検討していただければ、寄港の際の「おどろき」だけでなく、観光客の満足度の向上や、観光客の滞在時間延長などの取組も検討している。

これまでの集客整備を促す取り組みや、アジ漁の外航クルーズ船の寄港実現に繋がるべきと考えるが、このように戦略的誘致に取り組むのか？

答弁 石井知事

今年度新たに、クルーズ船誘致センターを配置するほか、集客クルーズ船誘致のための補助制度の創設、「トリップアドバイザー」や「 TripAdvisor」を活用した誘致促進などにも、国はもとより欧米の船主等へのサービスも強化するとしている。なお、今年4月には、世界で最も美しいクルーズ船「アムステルダム」の来航を記念して、欧州の主要な船主社を訪問し、誘致について、先方の都合が合うよう、自らサービスを行うことも考えている。

整理番号	1546	事業概要*	
使途項目*	03_広聴広報費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費 03_広聴広報費 08_事務所費 04_要請陳情等活動費 09_事務費 05_会議費 10_人件費
内容	県政報告21号作成費		
上記事業に要した経費	経費の内容*	金額(円)*	備考
	デザイン・データ作成費	120000	A4*4P
	印刷費	133200	フルカラー
	消費税	20256	8%
	《合計》*	273456	

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領収証

むかい 栄一朗

様

No. _____

★ ¥ 273,456-

但 県政報告 デザイン、データ制作 印刷費として
H30年 9月 3日 上記正に領収いたしました



有限会社 ファインプロジェクト
〒933-0116 富山県高岡市伏木一宮1-2-82
tel.0766-45-1070 fax.0766-45-1071



收受 平成 30 年 10 月 15 日
決裁 平成 30 年 10 月 17 日
処理 平成 30 年 10 月 17 日

一 開発と自然が調和した地方創生

むかひ 栄一朗

平成30年8月発行 第21号 発行所 自由民主党富山県連合会議員会



平成30年6月15日
県議会6月定例会
本会議一般質問

◆ 日本遺産の活用について
◆ 富山湾の魅力向上について
◆ 水産業の振興について



Pic up!
Newspaper
6月定例会本会議での質疑応答
新聞記事に取上げられました。

アイワシ 漁獲量最多

向栄一朗氏 (自民・富山)

アイワシの漁獲量は、今年1-4月の累計で、前年同期比で約2割増の約200トンに達し、過去最高を更新した。県漁業協会の調査によると、今年前半のアイワシの漁獲量は、前年同期比で約2割増の約200トンに達し、過去最高を更新した。

道の駅前国道の拡幅を

向栄一朗氏 (自民)

富山県は、道の駅前国道の拡幅工事を進めている。今年前半のアイワシの漁獲量は、前年同期比で約2割増の約200トンに達し、過去最高を更新した。

休外港緑地の整備 第1期区画、実施設計

向栄一朗氏 (自民・富山)

富山県は、休外港緑地の整備を進めている。今年前半のアイワシの漁獲量は、前年同期比で約2割増の約200トンに達し、過去最高を更新した。

アイワシ漁獲量 今年も並年最多

向栄一朗氏 (自民・富山)

アイワシの漁獲量は、今年も並年最多となっている。今年前半のアイワシの漁獲量は、前年同期比で約2割増の約200トンに達し、過去最高を更新した。

議員活動のダイジェスト

5月15日 げんか山祭

5月18日 清流ゴミ発生状況

5月20日 とやま線と水のフェスタ

5月24日 創薬研究開発センター開所式

6月24日 二上山森林広場開催

4月25日、「道の駅雨降が、いよいよオープンしました。おかげで国内の観光客はもとより、今まであまり見かけなかった外国人観光客の姿も多く見られるようになり、特に休日には私たちの生活道路でもある415号線が大混雑。交通整理も大変につき、発行者やサイクリストにとって危険極まりないようになっています。賑わいは大変うれしいのですが、早期の対応をお願いします。(中山)

日本遺産の活用について

県内の日本遺産を活用した観光の振興にどう取り組むのか。

日本遺産は、全国で67件が認定されているところである。国の「日本遺産魅力発信推進事業」において、①情報発信・人材育成事業、②普及啓発事業等に補助制度が設けられている。県では、認定された3件について、県の観光公式ウェブサイトや観光季刊誌「ねまるちや」などの観光PR冊子等において、歴史・文化の魅力や文化財とあわせて情報発信してきている。今後、関係市のご意見も伺いながら、日本遺産を活用した観光振興に努めてまいりたい。(答弁/観光・交通・地域振興局長)

薬都とやまイメージアップに日本遺産の認定は欠かせない、今後の取り組みは。県では、平成28年に県産業連合会からの要望を受けて、配酒業の日本遺産認定に向けて取り組んできたが、「薬都とやま～立山からの薬まぐ開(あ)き～」については、認定に至っていない。認定されなかった原因を精査し、課題を整理した上で、関係市町や県産業連合会等とも、ご相談しながら、しっかりと対応を検討してまいりたい。(答弁/厚生部長)

▼日本遺産認定関連▼

- 「富山の第一工から生まれた杉製美術館」井原北村の邸宅、現日本遺産認定。
- 「荒波を舞い越え、大男たちの夢が輝いた異空」富山県立総合文化センター、現日本遺産認定。
- 「構成文化財に北前船資料館、気象資料館、伏木神社、春香例大祭、げんか山祭、帆柱こし、いしめ、奥御寺遺跡、古久の町並み、善師家、餅物製作用具及び製豆。」

高岡市 市民生活

富山湾の陸揚工事について

外航クルーズ船の寄港の増加に向けて
どう取り組むのか、所長は。

菅井(知事)

新総合計画の県民参加推進において、伏木富山港へのクルーズ船の寄港回数を二〇二二年には13回に増加させる目標値を設定している。

今年度新たに、①のクルーズ船誘致専門チームネットワークやクルーズ客船誘致パルルス専門員を配置するほか、②到着クルーズ誘致のための補助制度の創設、③トリップアドバイザー等を活用した誘致促進などにより、臨海の船社等へのパルルスも強化してまいります。

M&Aの活用による寄港の経済効果は。

菅井(知事)

旅行会社による、①の本町・三ツ井・ハルマ・ハルマが運行し、約1,000名の乗船客の利用があったほか、②旅行会社を窓口としたバスとして13台が運行され、約200名の乗船客に利用され、高岡市が運行するバスと合わせて、約1,800名のバス利用実績があった。

高岡市が実施したアンケート調査によると、乗船客一人当たりの県内での飲食や土産品購入をはじめとした平均消費金額は約1,800円と推計される。

M&Aの活用による寄港翌日の朝、大量の漂着ゴミが流れ着き流出が心配された。期間を定め、岸上方式による漂着ゴミ処理機械の配備を。(高岡市環境衛生課より)

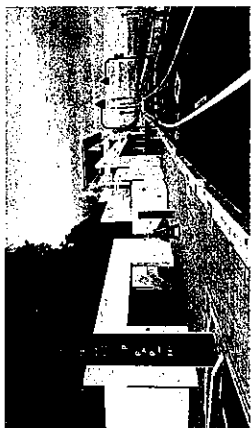
菅井(土木部長)

県としては、今年度、大量のゴミが沿岸地に漂着するのを予防できる設備が、例えば、台風による大雨、大津波が増水し北寄りの風が吹くと予測される場合、試行的に数日間、重機を借り上げ、水面に浮かぶゴミを回収することを考えており、その効果や効率を検証してまいります。

道の駅雨晴に隣接する国道41号と5号の幅員の陸揚用地確保と工期短縮は。

菅井(土木部長)

国道41号は「環状道路」を形成する重要な幹線道路であり、富山湾越しの雄大な立山連峰を望む



雨晴海岸に隣接しており、県と高岡市が一体となって、「道の駅雨晴」を整備したところである。

この区間に続く区間の200mについては、第2期区間として今年度、事業に着手し、現在、道路の詳細設計を行っているが、詳細設計を早期に進めるなど、第2期区間の事業の進捗を図ってまいります。

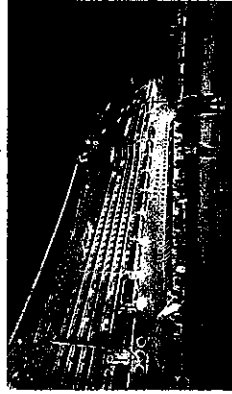
ことから、今回の約二〇〇〇名の乗船客による区域的な経済効果は、約一七〇〇万円と試算される。

外航クルーズ船寄港に対し
県と高岡市とが連携強化を。

菅井(観光・交通・地域振興部長)

外航クルーズ船客の満足度の向上を図るためには、多岐に魅力的な観光資源を有する県西部も市と県が連携して、乗船客の受入れ強化に取り組んでいくことは、大変有意義である。

「道の駅雨晴」や「ひめまき番匠街」「新築まごころ広場」などの魅力ある観光スポットへの誘導を図るため、県西部も市や交通事業者、観光事業者、商業施設などの関係者と、シャトルバス等の運行について検討を行い、船会社等へ提案してまいります。



みなとオアシスの整備をどのもりに位置付け、外港緑地整備に取り組むのか。

菅井(土木部長)

「みなとオアシス伏木」については、「伏木コンビニヤヤター」を代表施設、「万葉の里」や「万葉の頭縁地」「国分海浜公園」の3つの施設が、6月1日、国土交通省の同意を受けた。

外港緑地の整備については、今年度、基本計画をとりまとめ、みなとオアシスの構成施設の1つである

「万葉の頭縁地」と行き来できる遊歩道や地域のイベント等に利用される交流広場等を整備し「伏木コンビニヤヤター」との連携を図ることとし、現在、第1期区間について実施設計を進めている。

伏木富山湾伏木地区の連携協力団体の指定は。

菅井(土木部長)

県では、昨年10月に、伏木富山湾新築地区の公民館団体の伏木富山湾・海王が共同で富山湾伏木地区の株式会社兼三・シャトルバスを連携協力団体に指定し、ホームページを通じて全国にもお知らせするとともに、情報活動など、地域活動にも貢献いただいている。

伏木地区の連携協力団体の指定については、既に県のホームページで公表している。高岡市と連携・協力し、賛意のある民間団体等からの相談に応じるなど、積極的に取り組んでまいります。

みなとオアシスのクルーズ客交流施設に位置づけられた万葉の里整備の進捗地帯の整備は。

菅井(土木部長)

万葉の里整備後の活用用途は、クルーズ船も利用していることから、観光対策については、苦慮しているところである。連携利用において、自主的に活用用途を提案され、県でもM&Aの活用を促進するため、一部の買物の前に紅白の幕を設置するなど、対応している。

観光対策について、抜本的な対応は難しいのではないかと思われているが、引き続き、他市の取り組みの情報収集に努め、調査、研究してまいります。

(再質問) 雨晴の第2期区間の200mは歩道がなくシャトルバスとの接触が心配されるが、国産バスと上りの遊歩道に間に菅井の確保ができなかったら、再度開工。

菅井(土木部長)

雨晴の幅員について、第1期区間を度々までに整備を終え、間をおかず、第2期区間200mの整備に取りかかり、現在、測量などの準備段階の作業を進めてきており、詳細設計について、昨日、契約したところである。

高岡市が駐車場の整備を後回しされることから、市とも十分調整をとりながら、詳細設計を早く認め、つなぐ地帯について概略を地元にお示しできるように、その際には物件を全額移転していただくかなければならない地帯の方も出てくることから、それらの方々に設計を説明し、同意をいただくという手順を踏みながら、一生懸命事業を進めてまいります。

水産業の振興について

富山湾でのマユシとホタルヤカの水産量の状況は。

菅井(農林水産部長)

本県のマユシの水産量については、昨年は年間6.2トン、水産量も少ないが、今年度は5月末までに1.430トン、過去10年の年間平均2.430トンを既に大きく上回り、平成では一番の豊漁となっている。

ホタルヤカの水産量については、昨年は年間1.299トン、過去10年の年間平均1.855トンの70%



となりました。今年度は5月末までに682トン、昨年同様の5%、過去10年の年間平均の38%に止まり、平成に入ってから着目し、かなり漁獲量となる見込みである。

水産行は、小型クログマの本県漁獲量の拡大と定置網による漁獲物の共同管理制度を廃止するとして、本県水産業者への影響は。

菅井(農林水産部長)

本県漁業者への影響による影響は、小型クログマの漁期が北海道や東北は秋頃と早く、本県は冬頃と遅いことから、早期に他県と大幅な超過があった場合でも、本県の漁獲者に余裕があれば漁業自給は確保されず、他県の漁獲量による影響をより受けにくくなるも考える。

本県の漁獲量は若干増加したものの、大量の米遊があれば、一挙に積み上げ、漁獲抑制のための休漁等の措置が早期化するとも想定される。

定置網に入った小型クログマの放流技術の開発状況は。

菅井(農林水産部長)

水産研究所では、本年1月から3回、水中カメラを用いて定置網内の魚群行動の観察を行った。

クログマは、定置網内では放流を繰り返す等の行動特性があることを勘案して、定置網内の設置付近に分布する魚種を効果的に放流する技術を開発するため、3月下旬から、放流試験を2回実施した。

今後、これらの放流方法を本県にクログマについて実施し、クログマが米遊する秋以降の時期に合わせて放流試験を複数回行う。

報告者* 向 栄一朗

整理番号	2009	事業概要*	県政報告郵送費		
使途項目*	03_広聴広報費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費 05_会議費 10_人件費
内容	県政報告郵送費				
上記事業に要した経費	経費の内容*	金額(円)*	備考		
	県政報告郵送費	361860	内消費税26804 /		
	《合計》	361860			

振替払込請求書 兼受領証

00180 3 901196

日本郵便株式会社

金額 千 百 十 万 千 百 十 円
3 6 1 8 6 0

933-0101 富山県高岡市伏木国分1丁目5-3

向 栄一朗 様

日 附 印
30-10-29 伏木郵便局

(32015) N94290010

この受領証は、大切に保管してください。

(ご注意)

- この用紙は、機械で処理しますので、汚したり、折り曲げたりしないでください。
- この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
- この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知する場合があります。
- この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。



貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。

收受 平成 30 年 12 月 7 日
 決裁 平成 30 年 12 月 7 日
 処理 平成 30 年 12 月 7 日

請求書 (Bill)

向 栄一郎

様

日本郵便株式会社



平素は、格別のお引き立てに預かり、誠にありがとうございます。
料金後納ご利用額につき、下記のとおりご請求させていただきます。
同封の払込取扱票にて、最寄りの郵便局またはゆうちょ銀行でお振込みください。
※ゆうちょダイレクトによるご送金はできませんのでご注意ください。

【お問合せ先】
高岡郵便局
電話：0766-28-5100

ご請求番号 (Billing ID)	ご請求額 (Charge)	お支払期限 (Due Date)	発行日 (Date of Issue)
██████████	361,860 円 (うち消費税相当額) 26,804 円	2018年 10月 31日	2018年10月 6日
ご請求の内訳 (Billing Details)			
2018/09/01~2018/09/30 料金後納ご利用額		361,860円	

お支払期限までにお支払いいただけない場合、その期限の翌日から年14.5%の延滞利息をお支払いいたします。
「犯罪による収益の移転防止に関する法律」(平成19年法律第22号)により、10万円を超える額をお支払の際には、ご利用金融機関の窓口において、お客さまご本人のお名前、ご住所、生年月日が記載された証明書類をご提示いただくことが必要となります(詳しくは最寄の郵便局またはゆうちょ銀行にお問合せください)。



◎重要施策の二般質問

富山湾の観光向上について

外航クルーズ船の寄港の増加に向けて、どこ取り組むのが、所見は。

菅井(知事)

新総合計画の具現化推進策において、伏木富山港へのクルーズ船の寄港回数を、二〇二二年には三回に増加させる目標値を設定している。

今年度新たに①のクルーズ誘致専門ホームページやクルーズ船誘致サールズ専門員を配置するほか、②乗船クルーズ誘致のための補助制度の創設、③トリップアドバイザー等を活用した誘致促進などにより、欧米の船社等へのサールズも強化してまいりたい。

MSCのクルーズ船の寄港の経済効果は。

菅井(知事)

当社による、MSCのクルーズ船35名が運行し、約1,000名の乗船客の利用があったほか、②旅行会社を窓口向けチャトルバスとして13名が運行され、約700名の乗船客に利用され、高岡市が運行するチャトルバスと合わせると、約1,800名の入利用客があった。

高岡市が実施したアンケート調査によると、乗船客一人当たりの県内での飲食や土産品購入をばらめると平均消費金額は約1,800円と推計される。

MSCのクルーズ船寄港前日の朝、大豊の漁獲量が流石な漁獲が心配された。期間を定め、借上方法による漁獲管理の整備を。(総務課長と水産部長)

菅井(土木部長)

県としては、今年度、大豊のクマシラ湾に漁獲するが心配される気象状況、例えば、台風による大雨、部川が増水し北寄りの風が吹くと予測される場合、試行的に敷目網、重機を借り上げ、水面に浮かぶクマシラを回収することを考えており、その効果や効果を検証してまいりたい。

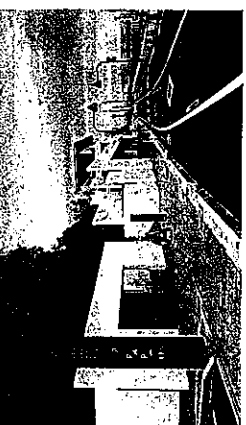
道の駅雨晴に隣接する国道415号拡幅の駐車場用地確保と工期短縮は。

菅井(土木部長)

国道415号は、「環状道路」を形成する重要な幹線道路であり、富山湾越しの雄大な立山連峰を望む

雨晴海岸に隣接しており、県と高岡市が一体となつて、道の駅雨晴を整備したところである。

この区間に続く東側の200mについては、第2期区間として今年度、事業に着手し、現在、道路の詳細設計を行っているが、詳細設計を早期に進めるなど、第2期区間の事業の進捗を図ってまいりたい。



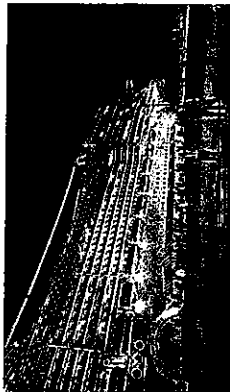
ことから、今回の約三〇〇〇名の乗船客による直接的な経済効果は、約一、七〇〇万円と試算される。

外航クルーズ船寄港に対し、県と高岡市とが連携強化を。

菅井(観光・交通・地域振興部長)

外航クルーズ船客の満足度の向上を図るためには、多彩で魅力的な観光資源を有する県西部各市と県が連携して、乗船客の受入れ強化に取り組んでいくことは、大変有意義である。

「道の駅雨晴」や「ひびき番屋街」「新築まことまじり屋敷」などの魅力ある観光スポットへの誘導を図るため、県西部各市や交通事業者、観光事業者、商業施設などの関係者とチャトルバス等の運行について検討を行い船会社等へ提案してまいりたい。



みなとオアシスの登録をどのように位置付け、外港緑地整備に取り組むのか。

菅井(土木部長)

「みなとオアシス伏木」については、「伏木クミエセンター」を代表施設、「万葉ふる里壁」「万葉ふ頭緑地」「国分海浜公園」の3つの施設が、6月1日、国土交通省の登録を受けた。

外港緑地の整備については、今年度、基本計画をとりまとめ、みなとオアシスの構成施設の一つである

(再質問)雨晴の第2期区間の200mは、歩道がなくサイクリストとの接触が心配されるが、国庫から上の工期の短縮について、菅井の確認ができなかったら、再度聞く。

菅井(土木部長)

雨晴の拡幅について、第1期区間を度末までに整備を終え、間をおかず、第2期区間200mの整備に取りかかり、現在、測量などの準備段階の作業を進めてきており、詳細設計について、昨日、契約したところである。

高岡市が駐車場の整備を検討されることから、市とも十分調整をとりながら、詳細設計を早く詰め、つづれ地について概略を地元にお示しできることになり、その際には物件を支援移動していただかなければならない地元の方も出てくることから、それらの方々に設計を説明し合意をいただくという手順を踏みながら一生懸命事業を進めてまいりたい。

水産業の振興について

富山湾のマイワシとホタルイカの漁獲量の状況は。

菅井(農林水産部長)

本県のマイワシの漁獲量については、昨年は年間で6,200トンと過去最高であったが、今年度は5月末までに1,430トンと過去10年の年間平均2,430トンを既に大きく上回り、平成では一番の豊漁となっている。

ホタルイカの漁獲量については、昨年は年間1,299トンと過去10年の年間平均1,855トンの70%に



「万葉ふ頭緑地」と行われてきた遊歩道や地域のイベント等に利用できる交流広場等を整備し「伏木クミエセンター」の連携を図るとし、現在、第1期区間について実施設計を進めている。

伏木富山港伏木地区の連携協力団体の指定は。

菅井(土木部長)

県では、昨年10月に伏木富山港近隣地区の公益財団法人伏木富山港漁業協同組合と魚津港北地区の株式会社魚津シーサイドフーズを連携協力団体に指定しホームページを通じて全国にPRしていただくとともに、清掃活動など、地域活動にも貢献していただく。

伏木地区の連携協力団体の指定については、既に県のホームページで公募している。高岡市と連携、協力し、意欲のある民間団体等からの相談に応じるなど、積極的に取り組んでまいりたい。

みなとオアシスのクルーズ旅客交流施設に位置付けられた万葉ふる里壁の背後地埋地の整備は。

菅井(土木部長)

万葉ふる里壁整備後の頭用地は、クルーズ船も利用していることから、景観対策については、留意しているところである。遊覧利用者において、自主的に頭用地を清掃され、県でもMSCのクルーズ船の寄港時には一部の貨物の前に紅白の幕を設置するなど対応している。

景観対策について、抜本的な対応は難しいのではないかと考えているが、引き続き、他港の取り組みの情報収集に努め、調査研究してまいりたい。

とまと。今年度は5月末までに682トンと、昨年同期の53%、過去10年の同期平均の38%に止まり、平成に入ってから着目しない漁獲量となる見込みである。

水産庁は、小型クマシラの本県漁獲量の拡大と定置網漁による漁獲量の共同管理の制度を廃止するとして、本県水産業者への影響は。

菅井(農林水産部長)

各県漁業人の意見による影響は、小型クマシラの漁期が北海道や東北は秋頃と早く、本県は冬頃と遅いことから、早期に他県で大幅な超過があった場合でも、本県の漁獲量に余裕があれば漁業自衛は要請されず、他県の漁獲量による影響をより受けにくくなることを考える。

本県の漁獲量は若干増加したものの、大豊の来遊があれば一気に積み上がり、漁獲抑制のための休漁等の措置が長期化するとも想定される。

定置網に入った小型クマシラの放流技術の開発状況は。

菅井(農林水産部長)

水産研究所では、本年1月から3回、水中カメラを用いて定置網内の魚群行動の観察を行った。

クマシラは、定置網内では表層を泳ぎ回る等の行動特性があることを観察し、定置網内の表層付近に分布する魚群を効果的に放流する技術を検討するため、3月下旬から放流試験を2回実施した。

今後、これらの放流方法を実際にクマシラについて実施し、クマシラが来遊する秋以降の時期に合わせて放流試験を複数回行う。

整理番号	2319	事業概要*	県政報告書作成			
使途項目*	03_広聴広報費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費	05_会議費 10_人件費
内容	県政報告22号作成費 1000枚					
上記事業に要した経費	経費の内容*	金額(円)*	備考			
	デザイン・データ作成費	120,000	A4*4p			
	印刷費	133,200	フルカラー			
	消費税	20,256				
	《合計》*	273,456				

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領 収 証 向かい栄一朗 様 No. _____

★ ¥ 273,456-

但 県政報告 第22号 制作費とシズ

H31年 1月 9日 上記正に領収いたしました

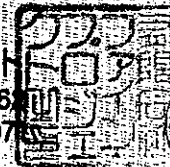
内 訳



取扱金額

額等(%)

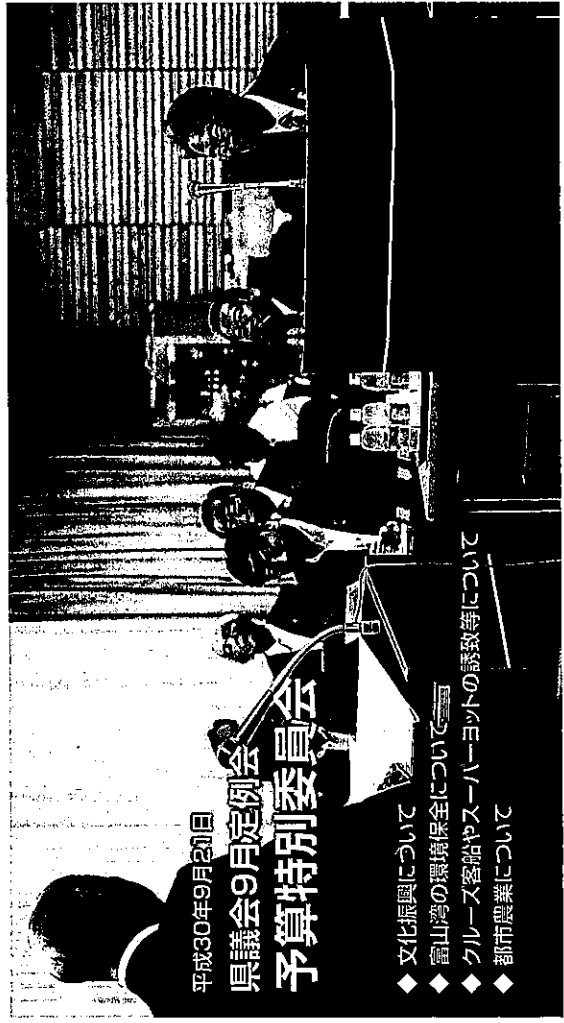
有限会社 ファインプロジェクト
〒933-0116 富山県高岡市伏木一宮1-2-6
tel.0766-45-1070 fax.0766-45-1070



收受 平成 31 年 1 月 15 日
 決裁 平成 31 年 1 月 17 日
 処理 平成 31 年 1 月 17 日

平成30年12月飛行
第22号
発行所
自由民主党富山県議会議員会
むかい栄一朗

むかい栄一朗 報告



平成30年9月20日
県議会9月定例会
予算特別委員会

- ◆ 文化振興について
- ◆ 富山湾の環境保全について
- ◆ クルーズ客船やスーパーヨットの誘致等について
- ◆ 都市農業について

『文化振興について』

2018.9.24
予算特別委員会 質疑応答

初公開となるインタビュー映像を上映すること、③スタジ
オジブリにご協力いただき、今回、初公開となる堀田善
衛原作の「路上の人の絵コンテ等」を展示する。

堀田善衛が生まれた伏木地区と連携し、①伏木図書館
への担当学芸員による出張講座の開催、②堀田善衛作詞
による「伏木中学校の歌」の活用、③伏木中学校における
講演会の開催などを行うこととしている。

県立美術館や博物館における
多言語対応の取り組みを問う。
答弁(生活環境文化部長)

県立美術館や博物館では、今年度、多言語対応の環境
をさらに充実させることとしており、現在導入している多
言語音声ガイドシステムや案内パンフレット、ホームペー
ジに、ロシア語やフランス語などを追加し、多言語対応の
整備、充実に取り組んでまいります。

答弁(知事)

「大伴家持文学賞」や「高志の国詩歌賞」など詩人の
顕彰を、これまで2年に1度行っている。引き続き、家持の功
績を広く普及啓発、顕彰し、高岡市も熱心に行っており、さら
に世界に向けてその魅力を発信してまいります。

堀田善衛氏の「生涯100年記念特別展」の
企画内容について、問う。
答弁(生活環境文化部長)

古志の国文学館における展示では①堀田善衛が自ら
撮った写真や世界各地の詩を使い、堀田善衛と一緒に旅を
しているように感じられる展示としていること、②宮崎駿
氏をはじめ堀田善衛の作品に親しんだ作家による、今回、

向栄一朗氏 馬場
家持の魅力発信続けよ
▽知事 直野都で記念シンポジウム

馬場知事は20日、富山県庁で、家持の魅力発信を続けることについて、向栄一朗氏と意見交換した。向氏は、家持の魅力を発信し、富山県を観光地として盛り上げることを目指す。向氏は、家持の魅力を発信し、富山県を観光地として盛り上げることを目指す。向氏は、家持の魅力を発信し、富山県を観光地として盛り上げることを目指す。

9月22日 北日本新聞



スーパーヨット誘致を
向栄一朗氏
（記者）
富山県は、スーパーヨットの誘致を積極的に進めようとしている。向栄一朗氏は、スーパーヨットの誘致を積極的に進めようとしている。向栄一朗氏は、スーパーヨットの誘致を積極的に進めようとしている。

9月22日 富山新聞

議員活動のダイジェスト

7月27日 羅倫船ひゅうがが入港歓迎式

9月27日 富山湾未来創造推進委員会
「富山湾が未来を拓く」案審議

9月30日 勝興寺光ノ宮祭

7月22日 大伴家持・越中万葉芸術文化展

9月20日 日本遺産伏木測候所ライブラリアップ

10月23日 「恋する灯台」岩崎の鼻
竹林整備

7月30日 3Rへの架け橋／国分浜・雨晴海洋

9月2日 富山県総合防災訓練

10月21日 伏木方面団秋季学校間訓練

結果後記

整理番号	2905	事業概要*	県政報告書作成		
使途項目*	03_広聴広報費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費 05_会議費 10_人件費
内容	県政報告23号制作費				
上記事業に要した経費	経費の内容*	金額(円)*	備考		
	デザイン・データ作成費	112,800	A4*4p(二つ折)4000枚、A4(DM折)5000枚 120000×0.94		
	印刷費	125,208	フルカラー 133200×0.94		
	消費税	19,040			
	《合計》*	257,048	/		

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領 収 証

むかい栄一朗

様

No. _____

★ ¥ 273,456-

但 県政報告23号 制作費として

H31年 3月 31日 上記正に領収いたしました

内 訳



有限会社 ファイン・プロジェクト
〒933-0116 富山県高岡市伏木一丁目2-62
tel.0766-45-1070 fax.0766-45-1071



收受 平成 31 年 4 月 8 日
 決裁 平成 31 年 4 月 10 日
 処理 平成 31 年 4 月 10 日

本会議：総質問

海岸漂着物の処理について

英水等の海岸漂着物の処理量と
処理状況に際した質問です。

梶井(水口土木部監)

1月半までの県内全域における処理量は、県分として約5000㎡、市町分として約1800㎡、あわせて約6800㎡となっている。ちなみに平成25年度から平成29年度までの5年間における年平均の処理量は2750㎡となっている。また、処理費用については、県分として約2億円、市町分として約3千万円、あわせて約5千万円となっている。このほかについても、平成25年度から平成29年度までの5か年における年平均の処理費用は約5千万円となっている。

発生源特定のため漂着物の
実態調査を実施すべきと考え、所見は。

梶井(環境生活環境文化部監)

来年度、海岸漂着物実態調査の
実施予定としている。この調査の
実施にあたっては、主要河川に
ついて、アラスカウエードの人工
物だけでなく、草木ゴミなどの
漂着量・出草や、沿岸部・水深の
漂着物の違いなども把握できる
よう、調査方法を検討するとし、
効果的な発生源対策の検討に
活用いただけるよう、調査結果を



あいの風気運は、これまで、お客様の利便性向上に
ついで、新旅客案内システムによる利用者の情報提供
の充実、例えば、各駅窓口の案内システムの新設や、利
用状況を確実なデータ化するのは、「価値あるお客さま
への新駅の新設、観光列車「三十三尺物語」、今年4月
6日に運転を開始する。

市町村や関係団体の関係者からなる「キヤンパム」
を設け、運営の決定時期等について検討を行うこととし、
今年度、既に中間報告を、12月には最終報告をまとめる
予定である。県としては、引き続き「ついで」キヤンパ
ムへの意見や提案を聞きながら、あいの風気運の
経営の安定と利用促進を図らなるとして、市町村等と連携
し、協議をしっかりと行っていきます。

文化財を活用した歴史体験型観光の
体験滞在型観光の向上にあたり、その
支援を行うこと。

梶井(総合政策部)

文化財を活用した歴史体験型観光の
滞在型観光の向上に向けた取組については、国が来年度か
ら新たに、文化財の所有者の方々などを支援するものとし
るが、その具体的な内容や支援の仕組みについては、
現在、国において検討を進めていると伺い、そのことである。

県としては、国の取組状況を把握し、随時市や市町村に
情報を提供することとしており、所望事項の方々から
ご要望があれば積極的に支援してまいります。

「巡る灯台」岩崎入瀬灯台の観光資源を
活用し、中部北陸自然環境、もちろん姫公園、道の
駅前街を結ぶ周遊観光ルートのPRや案内
表示の整備は。

梶井(環境観光・交通・地域振興部)

「白山系水産資源研究会」を呼び関係機関へ提供したいと
考えている。

「中野川と水質浄化センター」中野川が
本水質浄化センターへ、遊歩道整備計画に
関する協議が必要である、そのことに取り組みたい。

梶井(石井知事)

本県の海岸漂着物の約8割は県内由来であることから、
このことに関する対策を図るため、使い捨てプラスチックに関
する消費税率調査や、「プラスチック資源リサイクル」による
回収率向上の取り組みの推進などにも取り組むこと
としてまいります。

県として、市民社会に呼びかけ、市町村や関係団体から連携
し、上流や都市部をのめるとして、県民の皆さんの理解と参加を
いただきながら、海岸漂着物対策に万全を期してまいります。

森林整備のための関係し、森林整備計画が
進捗している、そのことに取り組みたい。

梶井(石井知事)

新たな森林管理システムにより森林整備を計画、実行す
る上で必要となる、樹種や樹高などに関する森林資源情報
を所定システムにより整備し、市町村に提供すること
としている。さらに、大学生等を対象とした森林体験や林業
就業体験の取組など、森林整備に必要となる人材の確保
や育成に取り組むこととしており、必要な取組につ
いては、県に配分される森林整備補助金を活用すること
としてまいります。

全国植樹祭にも参加した、水と緑の森づくりの取組を
広げたい、水と緑の森づくりを財源
として、県民参加の森づくりを推進し
たい。

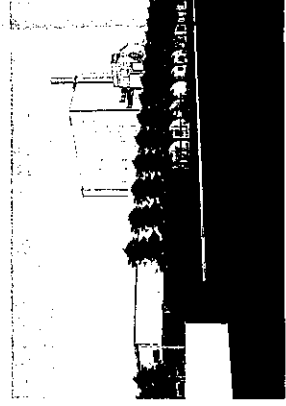
先に取組まれたら、月補正予算により、今後、中部
北陸自然環境の「三十三尺」の歴史を偲ぶこととして、
ぜひ、県内から参加し、歴史を偲ぶこととして、
設置し、多くの人が豊かな自然を親しみ、利用していただ
けるよう、環境整備に努めることとしてまいります。

木曽山麓水産地区の整備について

観光客の増加に伴い、水産資源の活用と
観光客の増加に伴い、水産資源の活用と

梶井(水口土木部監)

県としては、現業調理士の観点から、発電事業者の緑
化により、例えば、大層の委託業務が推進施設や荷役業務
に支障とならないよう、樹種の選定への配慮を要請する
こととして、この際、これまでの事例などを参考に、
情報をお知らせして提供
したいと考えている。また、発電事業
者から相談があった
場合は、関係市と相
談のうえ、樹木に関
する豊富な知識を
有する緑化や造園
に関する団体を紹介
するなど、よりよ
く緑化計画となる
よう、協力してまい
りたいと考えている。



石池建設住宅団地との木曽山麓
緑地の整備について、取組状況と竣工を
したい。

梶井(木曽山麓水産部)

市町地区の「水産加工林業振興地」において、農林水産
加工立山、森の産物による再造林を進めることとして、都市
と農村の交流を進めることとして、森づくりの取組
を一体的に推進するよう、関係機関と連携して、関係活
動なども立山、森の産物による再造林を進めている。市町部の
方も、より多くの県民の皆さんに森づくりに参加して
いただき、県民参加による関係や森林活動の普及に努めて
まいります。

観光列車「三十三尺物語」の運行について

訪日外国人旅行者の誘致やクルーズ船の
誘致に際して、そのことに取り組みたい。

梶井(石井知事)

観光列車の充実については、もともと、観光列車の
運行を「五〇周年」の充実、強化を図るほか、新たに
キャラクター化や多言語対応など、外国人旅行者への親
しみやすい対応を進めるための専門家の派遣、県民観光事業
者が行った取組、観光列車の導入や従業員への外国
語研修など、多言語対応や消費拡大の取組などに対する
支援なども進める。

また、クルーズ船の誘致に向け、伏木港の整備に
合わせ、新たに県民観光列車を活用し、例えば、三十三
尺物語も活用したクルーズ船の誘致の取組、効果的な誘致活動の展開など、国内外の観光客に
対するサービス向上を図りたい。

観光列車「三十三尺物語」の運行は、
観光客の増加に伴い、
あいの風を推進し、
そのことに取り組みたい。

梶井(水口土木部監)

伏木外港緑地整備地の整備については、この北側からの理
入地の整備が完了後、すみやかに着手したいと考えているも
の、用地買収や土地所有の状況など、事業者への協力の
確保が必須となることから、現時点で完成時期を明
確にすることは難しいが、今後とも、関係者の協力を得なが
ら、早期の完成に向け、努力してまいります。

伏木外港緑地整備計画の進捗状況
今後の取組について伺う。

私は、24年前当時の外港計画に無くなる予定の
圃分班をなんとかして残したいとの思いで議員に
立候補しました。

現在は、議員活動の原点であり、私に与えられた使命
であると思っており、取り組んでまいります。それ故、この
質問に万感の思いを込め、締めくくりに致しします。

梶井(石井知事)

議員ご質問の、伏木外港緑地整備地の外港緑地、約4ヘ
クタの区画の基本計画については、昨年度、関係市から万葉
公園緑地と遊歩道とならば、このことについて、
地元の方々の意見を聞き、関係市と地正関係者を構成された伏木
外港緑地整備協議会での議論を踏まえ、昨年5月にとい
まいたことである。

このうち、用地の取得を進めている第一期区画約1.5ヘ
クタについては、来年度の工事着手に向け、現在、関係
市と協議を行っており、協議会の委員の方々から協議の詳細な
仕様、事業などについて、配置、調達の仕様などであるが、
それについて、意見を伺うながら、今年度中に取組計画を
策定し、来年度、地元と関係するとしてまいります。